

郷土芸能紹介

①宮田狩踊り(泊野区)

宮田狩踊りは、「鹿兒島の殿様に世継ぎの子が生まれ、そのお祝いに泊野の猪を望まれたので、庄屋どんが狩人を集めて狩りを行う様子」を表現しています。

昭和47年5月12日に、町の無形民族文化財に指定されました。



②兵児踊り(中津川区)

兵児踊りは、蒲生の若者達が「出水に遊びに行く様子を取り入れたもの」という説があり、明治中頃、現在の出水市野田町からいくつかの地域を経て、中津川に伝わり、尾原集落や他の集落へ伝わったものと言われています。仕草が滑稽で、勇ましくもユーモラスな踊りです。



③浅山棒踊り(神子区)

浅山棒踊りは、武士たちの士気高揚のために勧めたものと伝えられており、浅山流の棒術を踊りにしたもので、檜の六尺棒を槍に、三尺棒を刀に見立て、4人1組で勇壮に舞います。力強い打ち合いによる乾いた音や棒を飛び越える所作が見所です。



④浅井野秋津舞(白男川区)

浅井野秋津舞は、島津義弘公の朝鮮の役出陣または凱旋を祝って踊ったのが始まりで、農民の士気を鼓舞するために奨励されたといえます。秋津は、秋津蜻蛉(アケストンボ)につながるともいわれ、トンボの飛ぶような軽快さがあり、勇壮活発な勇ましい踊りです。

